

令和8年度

「運営に関する計画」

(様式1)

年度当初

大阪市立大宮西小学校

令和8年4月

大阪市立大宮西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、1年生33名、2年生36名、3年生42名、4年生26名、5年生35名、6年生44名計216名（昨年度より－6名）の中小規模の小学校である。クラス編成は2、3、6年が2クラス、他は1クラスの編成となっている。また、本務の教職員構成は26名（±0）であり、昨年度より学級数が1つ減少しているが、ワークライフバランス支援員（教頭業務の支援を中心に行う）の加配をいただき、学校運営をおこなっている。

市中期目標達成に向けた昨年度の目標は、「安心・安全な教育」ではおおむね達成し、「学力・体力」では、学力面では達成、体力面では達成できなかった。「教育環境」では全体として上回って達成の状況だった。ただし、今後は学年別、同一集団による経年変化などを丁寧に分析するなど、さらなる改善をめざして努力する必要がある。

今年度は新たな大阪市教育局振興基本計画が発出され、大幅な変更はないものの、新たな中期目標などがつくられた。そのためには、もう一度気持ちを作り直して、教職員が一層の共通認識に基づいた実践を進める必要がある。

(1) 児童数と学級数（特別支援学級を含む）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
児童数	352	338	311	295	268	234	234	222	216
学級数	16	16	16	16	16	13	15	13	12

(2) 学校選択制実施状況

年度	通学区域内 就学予定者 数A	他校区への転 出による減B	他校区からの 転入による増 C	実質入学者数 D =A-B+C	転出者の割合 E=B÷A	実質入学者率 F=D÷A
R5	49	30	5	24	61%	49%
R6	67	32	7	42	48%	62%
R7	62	34	7	35	55%	56%
R8	46	23	10	33	50%	72%

■大阪市が定める3つの最重要目標と9つの基本的な方向

1 【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 ① 安全・安心な教育環境の実現

基本的な方向 ② 豊かな心の育成

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 ④ 誰一人取り残さない学力の向上

基本的な方向 ⑤ 健やかな体の育成

3 【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 ⑥ 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

基本的な方向 ⑦ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

基本的な方向 ⑧ 生涯学習の支援

基本的な方向 ⑨ 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

■上記以外で本校が定める目標（学級経営、専科指導、特別支援教育、清掃活動、食育 など）

1 【安全・安心な教育の推進】

いじめ、不登校、虐待その他問題行動については、各種対策委員会等で即時情報共有をし、組織的な対応に努めている。

また、近隣の小学校および中学校との連携も随時行っている。必要に応じて区役所子育て支援こども相談センターや警察、医療機関などの外部機関との連携した対応を行っている。

学校内には、学年別室や図書室、保健室、校長室など多様な児童の特性や抱えている背景、その時々児童の状況に応じて、児童が安心して過ごすことのできる場所を整備している。なお、不登校児童の在籍比率は、毎年増加傾向にある。一人ひとりの状況に応じた支援を行ったうえで改善していくことが望まれる。そのため、学校全体で、児童理解を柱とした、児童に寄り添った丁寧な対応を続けていくことが極めて重要である。

昨年度につづき、今年度のアンケート結果からも、大半の児童が、大宮西小学校に通うことを楽しみにし、友達や教員を信頼し、優しさ思いやりのある学校生活を送っている様子がうかがえる。今後も丁寧な対応を心掛け、安全で安心な学校づくりをすすめていきたい。

	R 4	R 5	R 6	R 7
いじめ件数	2 8	5 0	5 5	1 7
不登校件数	2	4	5	3
不登校率	0.7%	1.7%	2.1%	1.3%

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

■大阪市経年調査結果 同一母集団 経年比較

現6年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時	103.5	99	107	104	104	
4年時	94.25	94	89	93	101	
5年時	98.25	99	98	98	98	100
6年時						

現5年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時	87.75	76	86	87	102	
4年時	101.25	102	102	101	100	
5年時						

現4年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時	94	93	93	93	97	
4年時						

現3年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時	94	93	93	93	97	

【参考】全国学力学習状況調査 4月実施

	国語	算数	理科
本校			
大阪府			
全国			

■全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【取り組み】

文科省学習指導要領「主体的対話的で深い学び」の実現に向けて

- ① 年間3回の「全市公開授業」の実施
- ② 月1～2回行う「ビデオ研修」
- ③ 月2～3枚発行する「学び合い通信」
- ④ 夏休みに「全市公開研修会」を5回実施

3【学びを支える教育環境の充実】

時間外勤務上限基準の達成率

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準1 45h/1カ月 未満	65.2%	92%	
基準2 100h/1カ月 未満など	91.3%	96%	

【取り組み】

(1) 令和7年度に実施したもの

- 1) 学び合いの授業 2) 全市公開授業 3) ビデオ研 4) 予鈴の実施 5) 校時の調整
- 6) 職朝の週一化 7) 団演の廃止 8) 完全2足制 9) 勤務時間フレキシブル化
- 10) 地域連携授業（パンププロジェクト） 11) 主体的清掃

(2) 令和8年度に実施したいもの

- 1) 校務分掌体制整理 2) 前後期制 3) 通知表変更 4) 家庭訪問変更
- 5) 年間授業時数の標準化 6) 校時の調整（6限3時終了） 7) 児童昼会（冬季）
- 8) 行事の精選 9) さらなる地域連携授業（地域防災訓練、ふれあいデー）
- 10) 縦割班探究授業（Mingle ミングル） 11) 清掃日の見直し

中期目標

1【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上を維持する。
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

- ③小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ②小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ③小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ④全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より5ポイント向上させる。

3【学びを支える教育環境の充実】

- ①小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- ②小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- ③「教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

1【安全・安心な教育の推進】

- ①小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- ②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ③小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より向上させる。

2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- ②小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- ③小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ④全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より向上させる。

3【学びを支える教育環境の充実】

- ①小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を52%以上にする。
- ②教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

1【安全・安心な教育の推進】

2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

3【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立大宮西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現

	通番	大阪市教育振興基本計画に掲げる目標 項目	担当	達成状況
目標	1	小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。	集団育成部	
施策	2	小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	集団育成部	
	3	いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を80%以上にする。	集団育成部	
	4	年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度（1.3%）より減少させる。	教務部	
	7	児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」における「児童虐待を発見したり、疑いがあったり際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を90%以上にする。	研究部	
学校オリジナル目標				達成状況
	1-S-1	問題行動への対応：学校安心ルールの掲示と指導を年間1回以上行う。関係諸機関との連携を密接に行う。	集団育成部	
	1-S-2	児童虐待等への対応：①こどもサポートネットの実施 ②スクールソーシャルワーカーと連携していく。	集団育成部	
	1-S-3	「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。	集団育成部	
	1-S-4	防災・減災教育の推進：①年間3回以上の避難訓練を実施する。（火災、津波、地震）②学校だよりやはぐくみネット機関紙、学校ホームページ等で学校での安全教育の取り組みの様子を年間5回以上知らせる。③地域との連携を含めて年間1回以上、防災訓練を実施する。	集団育成部	
	1-S-5	安全教育の推進：①生活を明るくする週間を学期に1回行い、児童の意識付けをさせる。②安全マップを作成する	集団育成部	

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価

基本的な方向 2 豊かな心の育成

	通番	大阪市教育振興基本計画に掲げる目標項目	担当	達成状況
目標	9	小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より向上させる。	集団育成部	
施策	10	小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする	研究部	
学校オリジナル目標				達成状況
	2-S-1	道徳教育の推進：様々な事業などにより、「いのちと性」の教育事業、「子どもの情報モラル」の教育事業を実施し、自分や他者の価値を尊重し、高い自尊感情を育成する。	研究部	
	2-S-2	キャリア教育の充実：校外学習等で様々な職業の人から話を聞く機会を設ける。	教務部	
	2-S-3	人権を尊重する教育の推進：人権教育の計画的・系統的な推進。「学校園における人権教育・啓発推進計画」の作成と実践をおこなう。	(人権教育) 研究部	
	2-S-4	インクルーシブ教育の推進：共に学び、共に育ち、共に生きる教育の推進①自立し、主体的に社会参加できる力を養う ②個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	(特別支援教育) 研究部	
	2-S-5	多文化共生教育の推進：①日本の文化や伝統についての体験的な学習の推進 ②日本語指導の保障、母語・母文化の保障	(外国人教育) 研究部	
	2-S-6	仲間づくり・集団育成を推進する。：①ソーシャルスキルトレーニングなどを通じて集団を育成していく。②縦割り活動や異学年との交流を通して、互いに助け合う集団を育むことと、目標を持って高め合う集団を育成していく。	集団育成部	
	2-S-7	校内美化と健康管理の推進 委員会活動を中心に、健康管理を行い、日々の清掃活動を通して学習環境の整備を行う。	総務部	
	2-S-8	今年度の学年・学級経営目標	各学年	達成状況
1年	やさしくつたえあおう、まなびあおう			
2年	わからないことや、こまったことをきき合える 2年生			
3年	みんなちがって みんないい〜違いを認め合い・一人一人を大切に〜			
4年	まなび合ってちからをつけよう			
5年	自ら考え自ら動く			
6年	背中で語る学年集団			
糊岐媛	自己肯定感を高め、自力でできる力を育む			

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価

【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

	通番	大阪市教育振興基本計画に掲げる目標項目	担当	達成状況
目標	1 4	小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。	研究部	
	1 5	小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。	研究部	
施策	2 2	小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。	研究部	
学校オリジナル目標				達成状況
	4-S-1	■「授業中にわからないときは、先生やともだちに『教えて』と訊くことはできていますか？」の項目の肯定的回答を 85%以上にする。	研究部	
	4-S-2	■教科書レベルを超えた課題（ジャンプの課題）を月に 2 回以上行う	研究部	

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価

基本的な方向 5 健やかな体の育成

	通番	大阪市教育振興基本計画に掲げる目標項目	担当	達成状況
目標		全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より向上させる。	総務部	
施策	26	小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。	総務部	
	27	小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。	総務部	

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

		大阪市教育振興基本計画に掲げる目標項目	担当	達成状況
目標	28	小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を52%以上にする。	教務部	
施策	29	小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。	教務部	
学校オリジナル目標				達成状況
	6-S-1	・全国学力・学習状況調査 ・大阪市小学校学力経年調査 ・小学生すくすくウォッチの結果データの活用及び分析 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果データの活用及び分析 ・「心の天気」「いじめアンケート」等のデータの活用及び分析を行う	研究部	

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価

基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

		大阪市教育振興基本計画に掲げる目標項目	担当	達成状況
目標	7 1	教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下にする。	管理職	
学校オリジナル目標				達成状況
	7-S-1	①校務支援システムのグループウェア機能活用等を通じたICTの活用による学校経営の効率化を進める ②夏季休業中等の学校閉庁日の設定、始業式、終業式の弾力的運用の活用	管理職	
	7-S-2	多くの教職員が、質の高い研修に参加するように示唆する	管理職	

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価

基本的な方向 8 生涯学習の支援

	通番	大阪市教育振興基本計画に掲げる目標項目	担当	達成状況
施策	35	小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を50%以下にする。	教務部	
	36	小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上にする。	教務部	

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価

基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

		学校オリジナル目標	担当	達成状況
施策	9-S-1	『はぐくみネット』・『学校元気アップ地域本部』や学校協議会などの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して、肯定的に回答する割合を50%以上にする。	教務部	

取り組みの進捗状況や結果と分析 最終評価